

| | | | |
|----------|-----------------------|--------|---------|
| 教科名 | 機械科 | 単位数 | 4単位 |
| 科目名 | 機械実習 | 対象学年・科 | 3学年 機械科 |
| 教科担当 | 矢部 昭人・宮内 友弘・佐藤 昌史 | | |
| 教科書・副教材等 | 機械実習1・2 機械工作 実教出版株式会社 | | |

| | |
|-------|--|
| 科目の目標 | 機械実習に関する基礎的な知識と技術について、実際の作業を通して総合的かつ体験的に学習し修得させ、実際に活用する能力と態度の育成を目標とする。 |
|-------|--|

| | | 単元 | 配当時間 | 学習内容・目標 |
|------------------------|-----|--------|------|--|
| 年間授業内容 | 一学期 | パソコン実習 | 34h | <ul style="list-style-type: none"> ・ワープロ(ワード)文書作成 ・表計算(エクセル)表作成・計算、グラフ作成 ・プレゼンテーション(パワーポイント) ※以上の内容を理解させ習得させることを目標とする。 |
| | 二学期 | 材料試験実習 | 37h | <ul style="list-style-type: none"> ・金属材料の機械的性質 ・炭素鋼の熱処理と金属組織 ・引張り試験、硬さ試験および衝撃試験を通して材料の機械的性質について学習する。 ※以上の内容を理解させ習得させることを目標とする。 |
| | 三学期 | NC実習 | 27h | <ul style="list-style-type: none"> ・数値制御機の原理、構造、制御方法の基礎 ・NCプログラムの基礎、プログラムの作成 ・CADの扱い方、CAD/CAMシステム ・レーザ加工機による加工法について学習する。 ※以上の内容を理解させ習得させることを目標とする。 |
| 以上3つの単元をローテーションして学習する。 | | | | |

| | |
|----------|--|
| 評価の観点・方法 | 各ショップにおいて、課題、レポート、取組姿勢などを総合的に判断して、1、2学期はショップごと、3学期は3つのショップの評価を総合し機械実習の評価とする。 |
|----------|--|